

外国人研究者の現状に合わせて、科研費を初めとする競争的資金に関する情報提供や申請支援等を行うことにより、外国人研究者が本学において円滑に研究を進め力を発揮できる環境を整備する。



本事業のポイント

- ・外国人研究者の立場に立った支援の実施
- ・事務部との連携による取組
- ・長期的な取組による、充実した資料の作成、支援プログラムの実施



本事業の目指すイメージ

外国人研究者のこれまでの現状

- 競争的資金を獲得したいが、例えば日本の助成システム、研究者自身の雇用状況等、基本的な知識が不足している。
- 英語による情報が十分になく、支援者の配置にも偏りがある。
- → 研究を円滑に進め、十分に力が発揮できる環境が整備されていない。



支援を受けた研究者

- 支援を受けて初めて申請書に何が求められているのかわかった。
- 役に立つ説明を提供してもらえたが、もっと簡単に英語の情報が手に入るようにしてほしい。



目指す状態

日本人研究者と変わりなく、できるようになる外部資金獲得。採択率も向上する。等
→ 外国人研究者が研究をすすめ、より活躍できる研究環境へ。



取組実績と得られた成果

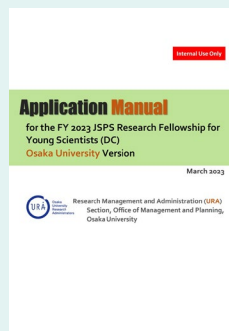
- 日本学術振興会特別研究員-DC, PD (研究推進課と連携して取り組みを実施)

1) 特別研究員申請書作成マニュアル(英語)

Application manual for the FY 2023 JSPS Research Fellowship for Young Scientists (DC) Osaka University Version

経営企画オフィスURA部門のノウハウを執筆者の視点でまとめた「申請書作成マニュアル」を作成しました。

当初計画していた研究資金に関する英語での説明会については、個別対応として実施しました。



申請書作成マニュアル

2) 科研費相談員制度(英語)

● 個人相談の実施

科研費審査委員経験者等の科研費制度に精通した者の中から分野毎に相談員を選任し、応募を予定している全学の外国人研究者に対し、研究計画策定や計画調書の作成について助言を行います。

● 申請書作成支援

申請書の英訳や申請書の書き方指南を提供しています。